

# 「まごころ養成事業PART1」 ～ボランティアスキルアップセミナー～

## ★事業の概要★

### 事業のねらい

体験活動をとおして子供との関わり方を学び、よりよいコミュニケーションの取り方や安全管理に必要な知識や技術を身につけ、青少年教育施設ボランティアとしての資質の向上を図る。

### 期 日

平成25年5月25日（土）～ 5月26日（日）〈1泊2日〉

### 会 場

国立大雪青少年交流の家

### 対 象 者

高校生以上でボランティア活動に興味や関心のある方

### 参加者数：参加募集人数

21名：20名（全日程参加者14名、部分日程参加者7名）  
（参加者内訳：高校生7名 大学生6名 一般8名）

### 講 師

NPO 法人グリーンステージ美瑛・白金ネイチャークラブ 小倉 博昭 氏  
美瑛町図書館 宮崎 さやか 氏  
大雪消防組合美瑛消防署  
国立大雪青少年交流の家職員

### 日 程

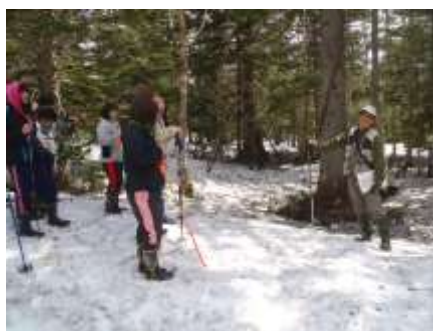
		10:00	10:15	10:30	12:00	13:00	15:00	15:30	17:30	19:00	20:30
5/25 (土)		受付	開 会 式	青少年教育 の現状と運営	昼 食	大雪周辺の自然 について学ぶ	読み聞かせの技 術を学ぶ	夕 食	ボランティア 活動の意義		
		9:00	10:30	10:45	12:15	12:30	15:30	15:45			
5/26 (日)	つ と い	朝 食	青少年教育 の理解	ボランティア 活動の理解	救命救急法	閉 会 式					

# ★プログラム紹介★



## 「青少年教育施設の現状と運営」

交流の家の取り組みについて紹介し、学校などから要望の多いコミュニケーションプログラムを体験した。



## 「大雪周辺の自然について学ぶ」

ハイキング時の安全管理や自然に関する知識を学んだ。



## 「読み聞かせの技術について学ぶ」

選書方法や本の持ち方や読み方、環境のつくり方について学んだ。



## 「ボランティア活動の意義」

## 「ボランティア活動の理解」

参加者同士で交流しながら、ボランティアとして大切な資質や能力について学んだ。



## 「青少年教育の理解」

現代における青少年の課題と取り組みについて、中央教育審議会の答申をもとに学んだ。



## 「救命救急法」

心配蘇生法と AED の使い方について学び、普通救命講習修了書を取得した。

## 企画・運営のポイント

- ① 「新しい公共」の考えを取り入れ、地域の方を講師に迎え、地域の協力を得ながら運営をした。
- ② 今回学んだことを、次回のまごころ養成事業で、実際に子供と接するときに活かせる内容とした。
- ③ 参加者が、ボランティアとして必要な知識や技術を体験的に学べるプログラムとした。

## 事業を終えて(成果・課題)

- ① 参加者のボランティア経験に差があったが、考え方や技術について交流したことで、お互いレベルアップすることができた。
- ② 広報をどのような方法で行っていくのが効果的なのか、今後も考えていく必要がある。

## 今後の方向性

今回の研修会で学んでいただいたことを、実践の中で生かせるようなプログラムを計画していく。